



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社グローバルキッズCOMPANY

上場取引所 東

コード番号 6189 URL <https://www.gkids.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 宜忠

問合せ先責任者 (役職名) 財務IR部長 (氏名) 生川 雅也

TEL 03-3221-3770

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	5,382	20.1	77	203.1	122	564.5	80	
2019年9月期第1四半期	4,480	12.9	25	13.5	18	61.8	38	

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 87百万円 (%) 2019年9月期第1四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	8.77	8.56
2019年9月期第1四半期	4.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	18,690	7,793	41.6
2019年9月期	18,259	7,706	42.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 7,774百万円 2019年9月期 7,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		0.00	0.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	14.2	300	72.7	630	64.7	420	62.4	45.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	9,172,058 株	2019年9月期	9,170,058 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	1,072 株	2019年9月期	236 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	9,169,920 株	2019年9月期1Q	9,106,574 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかに回復しているものの、米中貿易摩擦による世界的な景気減速懸念が高まるなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような環境のなか子育て支援事業を取り巻く状況は、女性の社会進出に対する意識の変化や政府による女性の活躍推進などにより、共働き世帯数や女性の就業率は依然として上昇傾向にあり、保育に対する需要は引き続き高い状況にあります。

こうした保育需要増加に対応するため、政府・自治体が保育の受け皿拡大を目的に保育士確保や保育所整備の施策を進めており、2020年度末までに保育の受け皿を300万人分程度とする方針を掲げています。こうした政府の取り組みの結果、保育所数が増加していることもあり、保育所の新設に対する需要は今後、ややペースダウンすることが想定されます。一方で、2019年10月から幼児教育・保育の無償化が開始されたことで保育所への入所希望者が増えることも想定され、保育所の新設に対する需要は当面の間、一定程度続くと思込まれます。

高齢化や総人口の減少による労働人口の減少が懸念されるなかで、経済の活力の担い手となる女性の社会進出のためには保育環境の整備、保育の質向上が課題であり、子育て支援事業者の社会的役割は一段と重要性を増しております。

当社グループは当第1四半期末時点で、認可保育所118施設（東京都86施設、神奈川県23施設、千葉県3施設、埼玉県1施設、大阪府5施設）、認証保育所・認定こども園等保育施設23施設、企業主導型保育所11施設、学童クラブ・児童館13施設、児童発達支援事業所1施設の計166施設を営んでおり、さらに2020年4月に東京都を中心に認可保育所を新規に7施設開設する予定です。加えて、前連結会計年度から新規参入した児童発達支援事業所を2～3施設開設し、合計9～10施設の開設を予定しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、運営施設数の増加を主因とした園児数増加により売上高が増加しました。一方で、保育士獲得や保育の質向上を目的とした働き方改革を戦略的に進めたことで人件費が増加しましたが、販売費及び一般管理費の抑制で吸収し営業利益率が向上しました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高5,382百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益77百万円（同203.1%増）、経常利益122百万円（同564.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益80百万円（前年同期は38百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して430百万円増加し18,690百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して402百万円増加し4,213百万円となりました。これは、短期借入を実施したことに伴い現金及び預金が202百万円増加したことや未収入金が112百万円増加したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して28百万円増加し14,477百万円となりました。これは、4月の新規開園準備のため建設仮勘定が239百万円増加したことが主因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して343百万円増加し10,896百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して544百万円増加し3,631百万円となりました。これは、賞与引当金が275百万円減少した一方、新規開園に向け新たに500百万円の短期借入を行ったほか、前受金が185百万円、未払金が164百万円増加したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して200百万円減少し7,265百万円となりました。これは、長期借入金で221百万円減少したことが主因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して86百万円増加し7,793百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が80百万円増加したことが主因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、2019年11月13日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,480	1,682
未収入金	1,932	2,045
前払費用	392	480
その他	6	4
流動資産合計	3,810	4,213
固定資産		
有形固定資産		
土地	589	589
建物及び構築物(純額)	10,640	10,470
建設仮勘定	32	272
その他(純額)	437	416
有形固定資産合計	11,701	11,749
無形固定資産		
ソフトウェア	30	27
ソフトウェア仮勘定	23	36
無形固定資産合計	54	64
投資その他の資産		
投資有価証券	79	81
長期前払費用	705	674
敷金及び保証金	1,546	1,554
建設協力金	324	319
繰延税金資産	10	6
その他	26	26
投資その他の資産合計	2,693	2,663
固定資産合計	14,448	14,477
資産合計	18,259	18,690
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	500
1年内返済予定の長期借入金	907	898
1年内償還予定の社債	23	—
未払金	1,228	1,393
未払法人税等	93	38
前受金	71	257
賞与引当金	553	277
その他	209	265
流動負債合計	3,087	3,631
固定負債		
長期借入金	5,032	4,810
退職給付に係る負債	255	267
繰延税金負債	1,852	1,861
資産除去債務	319	319
その他	6	5
固定負債合計	7,466	7,265
負債合計	10,553	10,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,275	1,275
資本剰余金	1,963	1,963
利益剰余金	4,522	4,603
自己株式	△0	△1
株主資本合計	7,760	7,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	0
退職給付に係る調整累計額	△72	△66
その他の包括利益累計額合計	△73	△66
新株予約権	19	19
純資産合計	7,706	7,793
負債純資産合計	18,259	18,690

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,480	5,382
売上原価	3,871	4,707
売上総利益	608	674
販売費及び一般管理費	583	597
営業利益	25	77
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	3
補助金収入	—	47
その他	2	0
営業外収益合計	3	51
営業外費用		
支払利息	7	7
その他	2	—
営業外費用合計	10	7
経常利益	18	122
税金等調整前四半期純利益	18	122
法人税等	56	42
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38	80
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	80
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	4	7
四半期包括利益	△33	87
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33	87
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。